

# しなやかな発想と好奇心、行動力が強み!



盛岡商工会議所女性会(林晶子会長)では、地域の女性経営者・役員や幹部社員が、ビジネス展開に向けた自己研さんに励むとともに、地域商工業の発展のため、さまざまな事業活動を展開しています。

その活動指針は、リーダーとして、凛と信をもって連帯し、平和で心豊かな社会を築くこと。ビジネスや地域振興において、連携をフルに活かした組織活動が求められる時代のなかで、女性会は、会員間のネットワークを活かして着実に組織力を高め、幅広い活動を続けてきました。

そこで、今回は、女性会の活動の軸となる事業・企画・総務の3つの委員会の若手役員・委員に、活動に対するお話を伺いました。



小野染彩所さんのデザインで石割桜をあしらった女性会の半てん。左上は、昨年収穫したリンゴからつくったジュース。

**事業委員会**  
(ネットワーク事業・地域振興事業)  
佐々木智子さん  
旬々々常商店



## 女性会での活動は、仕事とは違った出会いの楽しさがあり、「母」の立場から学ぶことも多い。

事業委員会では、新会員および盛岡に赴任してきた方の奥様や友人などに、まず盛岡を知ってもらおうと、さまざまな企画をしています。その一つが、「もりおかで縁を結ぶ・女性交流会」。盛岡の伝統、文化、食にふれ、その魅力を体感してもらいながら、地元との縁をつくってほしいとの思いで始まったものです。第3回となる今年度は、会員である小野染彩所さんとロシア亭北斗さんの協力で「南部古代型染め体験」と交流を兼ねた「ランチ会」を行いました。

また今年度は、女性会がリンゴの木5本のオーナーに申し込みました。会員みんなで摘花作業などを体験し、秋には約500個のリンゴを収穫。収穫したリンゴは会員で購入したほか、ジュースに加工して商工会議所の新年交賀会で販売しました。毎年、雛祭りに合わせて乳児院に寄付金やお菓子を届けていますが、今年はジュースも届ける予定です。

こうした活動は、私たち自身盛岡にいないが体験する機会が少ないこと。盛岡ならではの体験をすることが、地元への愛着にもつながります。「ここに暮らしているながら、新しい発見がある」との声が会員からも聞かれ、有意義な企画となっています。

## 稀にみる素晴らしさが残る、盛岡の良さをよそ見せずに発信し、次の世代にも伝えていきたい。

**企画委員会**  
(研修事業・親睦事業)  
村井朋子さん  
株式会社開



会員の資質向上に向け、年に3回程度の勉強会を開くのが企画委員会のおもな仕事。昨年からは、より企画意図を明確にするため、「もりおか、岩手を知る」新発見・再発見」というテーマで企画を進めています。

自身は、岩手や盛岡がとても素敵な場所だと思っ暮らしてきました。ところが、その良さを誰かに伝えようとした時、中途半端な知識だと、うまくアピールできないんですね。私たちが少しでも地元を知る機会を増やすことで、外への発信力も変わってくると思います。

企画内容はバラエティに富んでいます。昨年の新年会では、盛岡芸妓のよう姉さんを招き、女性会筆頭副会長の畑中美耶子さんとトークをしていただきました。もちろん盛岡弁で。流れるような盛岡弁を聞いたあとは、踊りと三味線を間近で観賞。これは、盛岡に生きる大切な文化ですね。今年度は、「遠野日帰りバスツアー」年明けの勉強会で桜山神社宮司・坂本広行さんの講話、新年会でのオークション大会などを行っています。

女性会の諸先輩は、凛としていて、事業成果に対して行なうアドバイスも明確。成果もきちんと評価してくれます。女性会の活動を通じて、縦にも横にも仲間ができたことが、何よりの喜びです。

**総務委員会**  
(組織運営事業)  
石塚庸子さん  
盛岡グランドホテル



## できる範囲で、活動に参加することが長続きの秘訣。興味を持ったら、気軽にのぞいてほしい。

総務委員会では、女性会の組織運営に関する庶務全般、組織強化に向けた取り組みを行っています。今年から、女性会の広報ツール「石割桜」の発行をスタートさせました。女性会の会員は現在約60名登録していますが、仕事の都合で、研修や活動に参加できない方も多くいらっしゃいます。会員間で情報を共有することが、広報ツール制作の第一の目的といえます。また、外に対する情報発信にも活用できますし、わかりやすく活動内容を知らせることが新会員増加にもつながると思っています。

盛岡をはじめ、岩手県の女性会は全国と比べても若い世代が多く、活動にも積極的。全国規模の大会に行くと、「盛岡は活気がある」と言われますが、盛岡の女性会の特徴は、第一に楽しく前向きな活動ができることです。ふだん仕事ではお会いできない方と共に「活動」することで、自分だけではたどり着けない答えを見つけられるなど、いろんな広がりをもたらせる会です。総会の進行や収支報告の作成などは、私自身が会社で携わる機会が少ない分野の仕事。会社や団体等の組織を強くするために必要なやり方を、会議所の業務を通じて学び、会社に持ち帰って自分の仕事にも役立てています。

**新会員より**  
伊藤桂さん  
㈱アザレ岩手本舗



## まず自分自身が楽しみながら参加することで、同世代にも活動を広めていきたい。

「第2回もりおかで縁を結ぶ・女性交流会」をきっかけに入会しました。林会長さんを始め、出会った皆さんがパワフルでその魅力に引き寄せられました。入会後は企画委員会の活動に参加していますが、直後の新年会では、もう一人の先輩会員と共に、司会を任せられました。仕事でお客様と一対一でお話することは多いのですが、大勢の前で話す機会はそう多くないため、とても勉強になります。何事も「学びながら」ですが、先輩の皆さんがうまく導いてくれる場面も多く、安心して自分を委ねられます。先輩の方々のお話を聞く機会があることに、皆さんのアイデアの源に感謝しています。さまざまな経験があつてこそだと思っので、どんどん積極的に参加していきたいと思っています。

### 最後に

女性会の活動指針を見ると、リーダーとは、「高い志をもって、自己の変革・向上をめざすこと」。凛とは、『情熱・勇気をもって行動し、社業の発展に努め、地域社会に貢献すること』。信とは、『礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、次の世代に継承すること』。連帯とは、『女性経営者の友情と信頼の和を内外に広げること』と記されています。今回お話を伺った4人の皆さんからは、ふれない志を軸に気負いなく活動に参加し、独自のチームワークで盛岡らしい女性会を形づくっている—そんな印象が感じられました。女性経営者の皆さん、連携の和を広げる女性会の活動に、ぜひ一度ご参加ください。

取材／SANS A 企画編集委員会